

これから放送する英文は、ケンが自分の生活について話しているスピーチです。そのスピーチを聞いて、内容に合う最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。

**リスニング問題**  
(概要や要点の把握)  
**通過率 51.5%**

I get up at 6:15 every morning. After breakfast I walk to the park with my dog at 6:50. I go to school at 7:30. I like sports. After school I play basketball with my friends on Thursday. It's fun.

2 ケンは何曜日にバスケットボールをしますか。

	解答類型	割合 (%)		解答類型	割合 (%)
○	木曜日	51.5	×	水曜日	5.0
×	月曜日	1.9	×	上記以外の解答	0.1
×	火曜日	40.9	×	無解答	0.6

Thursday と Tuesday など、綴りが似ている単語について、発音と綴りの関係を理解していない。

## 活動のつながり

### 【小学校外国語活動】

コミュニケーションに関する事項

- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ・積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

小学校第5・6学年

外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

### 【中学校外国語科】読むこと

文字や符号を識別し、正しく読むこと。

中学校

アルファベットの文字の形の違い、各符号のもつ意味や使い方などを認識した上で、英語の綴りを見て正しく発音できる。

## 提案 発音と綴りとを関連付けて指導しましょう。

- 小学校で play/plei/ や thank/θ æŋk/ などの音声に触れたあと、中学校では文字でどのように表すかを学ぶこととなります。音声と文字の両者を関連付けて指導することで、発音と綴りの関係に気付かせることが大切です。

- 「日本語のミルク (mi-ru-ku) 3 音節」  
: 英語の milk は 1 音節  
⇒ 歌・チャンツを通して、英語特有のリズムやイントネーションを体得する。
- 「brother (/r/ や/ð/) 日本語にないの音」  
⇒ 単語を聞いたり、発音したりすることにより、慣れ親しむ。

小学校



中学校

小学校で 【milk】 【br'ʌðə】  
と言っていたものは、「milk」、  
「brother」と書きます。



これから男性と女性の英語での会話を放送します。この2人の会話のあとに続く英文として最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。

- ☆ Excuse me? Do you have a pen?
- ★ Yes, I do.
- ☆ I don't have a pen.
- Can I use your pen?
- ★

- A : Sure.
- B : You're welcome.
- C : Me, too.
- D : Yes, I can.

**リスニング問題**  
(英語での問いかけに対する適切な応答)  
**通過率 52.7%**

年度	平成 27 年度	平成 28 年度
通過率 (%)	39.2	52.7
主な誤答 (%)	52.6 (Yes, I can.)	36.3

解答類型	割合 (%)	解答類型	割合 (%)
○ A	52.7	× D	36.3
× B	5.9	× 上記以外の解答	0
× C	4.8	— 無解答	0.2

- ・ 依頼としての **Can I~?** に対して、**Yes, I can.** と答えた。
- ・ 「**Can I~?** に対しては、**can** で答える」というパターンで捉えている。

## 活動のつながり

### 【小学校外国語活動】

コミュニケーションに関する事項

- ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ・ 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- ・ 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

### 【中学校外国語科】 聞くこと

- ・ 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

#### 第5学年

コミュニケーション  
の働きの例

「好きなものを伝えよう」  
Thank you.  
You're welcome.  
(Hi, friends! 1L4)

#### 第6学年

コミュニケーション  
の働きの例

「オリジナルの物語を作ろう」  
Here you are.  
Thank you.  
(Hi, friends! 2L7)

#### 中学校第1学年 言語の働きの例

A: Can you close the door?  
B: Sure.  
A: Can I use your camera?  
B: I'm sorry, you can't.

#### 中学校第2学年 言語の働きの例

A: Would you like anything else?  
B: No. That's all. Thanks.  
A: Could you tell me the way to the station?  
B: Sure.

#### 中学校第3学年 言語の働きの例

A: Could you tell me how to get to Fukuoka Airport?  
B: Sure.  
A: May I take your order?  
B: Yes, please.

## これまでの報告書で提案してきたこと

- 相手からの質問や指示、依頼、提案等の場面の設定を工夫し、相手の意図を正しく理解し、適切に応じることができるようにしましょう。(H27 学力調査報告書より)

- (例) ① Can you open the door? — Yes, of course. / Sure. / OK.  
 ② Shall I take you to the station? — Yes, please.  
 ③ Why don't you have dinner with us? — Thank you! I will.  
 ④ Would you like something to eat? — No, thank you. I'm full.

**提案** 場面や状況によって相手の意をくんで応答する活動を意識して仕組みましょう。

- 日常のコミュニケーションにおいては、特定の場面や状況にふさわしい表現があり、言語活動の指導に当たっては、具体的で分かりやすい場面や状況を設定することが必要です。断るときには理由を言うようにするなど、相手の気持ちをくんだ応答の仕方を考えさせましょう。

- (例) Can I open the window? It's hot. — Sure.  
 Can you help me with my homework? — Sorry, I can't. I'm busy right now.  
 Can you open the door for me? — OK. I'm coming.

次の1・2の会話文の〔 〕内の語を並べかえて、会話文を完成させなさい。

A : I like baseball. ① [ like / do / baseball / you ] ?

B : No, I don' t.

A : ② [ like / what / do / sport / you ] ?

B : I like soccer.

基本的な文のきまりを理解した作文

通過率 55.8 %

解答類型		割合 (%)	解答類型		割合 (%)
○	What sport do you like	53.7	×	Do you like what sport	1.2
△	What sport do you likeにおいて、大文字・小文字の誤りが1か所ある。	0.8	×	What sport do you likeにおいて、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが2か所以上ある。	0.1
△	What sport do you likeにおいて、綴りの誤りが1か所ある。	1.3	×	語順がまちがっており、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りがある。	1.4
×	What do you like sport	36.7	×	上記以外の解答	3.1
×	What sport you do like	0.1	—	無解答	1.5

「上記以外の解答」には、“What do you like sport?”という誤答が多かった。「What sport」が「何のスポーツ」という意味を理解していない。

年度	平成27年度	平成28年度
通過率 (%)	39.3	55.8
主な誤答 (%)	58.7 (上記以外の解答)	36.7

活動のつながり

【小学校外国語活動】

コミュニケーションに関する事項

- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ・積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
- ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

【中学校外国語科】書くこと

・語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

第5学年

音声中心の学習

「友達にインタビューしよう」

What color do you like?  
(Hi, friends! 1L5)

第6学年

音声中心の学習

「友達を旅行にさそおう」

What country?  
(Hi, friends! 2L5)  
「一日の生活を紹介しよう」  
What time do you get up?  
(Hi, friends! 2L6)

中学校第1学年

What+名詞+do you+動詞?

What time do you eat breakfast?  
What time is it?  
What color do you want?  
What subject do you like?  
What language do you study?

これまでの報告書で提案してきたこと

- 英語の文構造や語法を理解させるため、語の配列を日本語との対比で捉えて指導しましょう。その際、外国語活動で表現したことを文字で表すなど、活動をつなげましょう。

A: What color do you like?

B: I like red. I like blue.

A: What shape do you like?

B: I like triangles.

A: OK. Here you are.

B: Wow, nice T-shirt. (Hi, friends! 1L5)

小学校

小から中

中学校

You like blue. あなたは青色が好きです。

Do you like blue? あなたは青色が好きですか。

What color do you like ? あなたは何色が好きですか。

提案 “What + 名詞”を学習する際に丁寧に説明しましょう。

(例) Unit5

Is this a recipe?  
What is this?  
It is a recipe.

(例) Unit7

What time is it?  
It is nine twenty.

What の新出 (Unit 5) の際は、文構造を丁寧に説明しているが、What time 等 (Unit 7)、What の用法が変わったとき、上記のように文構造に着目させ、理解を促すように説明していますか。